

## 「喜びと聖霊に満たされ。」 使徒13章44～52節

聖霊に満たされるといふと、興奮して力をみなぎらせ、大きな声を張り上げていふように思う人も多くいると思います。実際、そういう興行師みたいな伝道者を多く見てきました。ご自分も興奮していますが、会衆も興奮してエクスタシー状態、集団催眠ではないかと、私は祈りながら冷静に見ておりました。悪霊付きと混同して、聖霊に満たされているふりをしていふように思われました。聖書には、「偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。」(マタイ24・11)とあることが現実化したように思ったのです。

「聖霊に満たされると倒れる。」という伝道者がいて、セミナーに参加した20数名の牧師に手を置くと、殆どの人が倒れました。私は、倒れても良いと思っただけで倒れなかったもので、講師は私の額を強く押ししましたが、それは聖霊の力ではないと思います。立っていました。倒れた牧師たちが、その後聖霊に特別に満たされたように思われませんでした。却って、辞めていった牧師たちが多くおりました。聖書の真理を探究し、その如くに生きたいと願っております。聖霊に満たされることが目的ではなく、聖霊に満たされたら、どういふことがわかり、どういふ力を得るかに関心があります。聖霊に満たされるとは、人格的なことであり、神の言葉に従って生きることが必要なのです。倒れたからといって、聖霊に満たされた証拠になりません。

今日の聖句では、「この群衆を見たユダヤ人たちはねたみに燃え、パウロが語ることに反対し、口汚くののしった。」(45)という状態でした。それに対して、パウロは福音を「大胆に語った。」(46)。決して感情的になつていないのです。「ところが、ユダヤ人たちは、神を敬う貴婦人たちが町のおもだった人々たちを扇動して、パウロとバルナバを迫害させ、二人をその地方から追い出した。」(49)。攻撃的、感情的になる人々に対して、迎合せず、卑屈にもならず、消極的にもならず、「彼らに対して足のちりを払い落とす」と(51)次の町に行くのでした。「弟子たちは喜びと聖霊に満たされてい

た。」(52)ので、挑発や攻撃に乗らなかつたのです。「御霊に満たされる。」とは、何でもできるとか、思い通りになるとか、超自然的な神の助けや現われがあるとか、自分が特別な人になるとか、そういうことではないと思います。

多くの人が、霊的に汚れ、罪の影響の中に生きています。そのような人は、神に祈って、或は神に力づけられて、思い通りになるように求めています。そういうことを神が叶えてしまったら、世界は破滅します。

普段、御心に従って生きていない人が、うまく行かなくなるのは当然なことです。ところが、そこで神の助けを求めて神がかりに解決しようとするのが、罪性なのです。そのような暮らしの先にあるのは、神の裁きです。日本人の信仰はそのようなものが多いのです。

何度も言いますが、イエス様が、裁きの時に、「空腹であつたり、渴いていたり、旅人であつたり、裸であつたり、病氣をしていたり」(マタイ25・34)の人を助けなかつた人を永遠の刑罰に入れるのは、自称信仰者を退け、悔い改めさせるためでした。「信仰も行いが伴わないなら、それだけでは死んだものです。」(ヤコブ2・17)。そして、その人を崩壊させていくのです。

「御霊によつて歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。」(ガラテヤ5・16)とありますが、「御霊に満たされる。」為には、何としても、みことばに従って、良き行いをしなければならぬのです。そして、良き行いをしているうちに、御霊の実が育っていくのです。「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。」(ガラテヤ5・22-23)。

私も妻も、仕事上、毎日、嫌な人々と付き合ひ、対応しています。祈り、みことばに立って、生きなければなりません。人の世は、「生き馬の目を抜く。」ほど、ずる賢く抜け目のないものです。自分を正当化して、自分の利益の為に他人を利用する人は多くおられます。人は、一度、悪にはまり込むと抜け出せなくなり、他人を陥れるしか逃れようがないと考へるのです。そういう中で、信仰によつて生き抜くには、いつも祈り、みことばに立ち、喜べる状況がなくても喜びと平安を主に与えられ続けることが必要です。腹が立ったり、苛立ったりすると畏に陥るので、どんなことがあつても、感謝の心を持ち、主に委ねて生きなければなりません。

祈らない人は、そういう悪の誘惑に気が付かず、罪と墮落の道を歩んでしまうのです。自分の弱さ、欠点、罪深さに負けてしまうのです。「聖霊に満たされる。」ということは、それほど大げさなことではありません。そして、いつも喜び、絶えず祈り、全てのこと感謝しないで達成されることはありません。霊的に目覚めていない人は、このことに無頓着で、外面のことに捕われるので畏に陥るのです。祈っていると、聖書を読んでいるという、人の目を意識した言い訳は通じません。真に、神を意識した信仰深さが、必要なのです。

## 1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

## 2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

## 3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

## 4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

## 5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

# 今週の聖書

### 【新改訳 2017】

使 13:44 次の安息日には、ほぼ町中の人々が、主のことばを聞くために集まって来た。

13:45 しかし、この群衆を見たユダヤ人たちはねたみに燃え、パウロが語ることに反対し、口汚くののしった。

13:46 そこで、パウロとバルナバは大胆に語った。「神のことばは、まずあなたがたに語られなければなりません。しかし、あなたがたはそれを拒んで、自分自身を永遠のいのちにふさわしくない者にしています。ですから、見なさい、私たちはこれから異邦人たちの方に向かいます。

13:47 主が私たちに、こう命じておられるからです。『わたしはあなたを異邦人の光とし、地の果てにまで救いをもたらす者とする。』

13:48 異邦人たちはこれを聞いて喜び、主のことばを賛美した。そして、永遠のいのちにあずかるように定められていた人たちはみな、信仰に入った。

13:49 こうして主のことばは、この地方全体に広まった。

13:50 ところが、ユダヤ人たちは、神を敬う貴婦人たちや町のおもだった人たちを扇動して、パウロとバルナバを迫害させ、二人をその地方から追い出した。

13:51 二人は彼らに対して足のちりを払い落として、イコニオンに行った。

13:52 弟子たちは喜びと聖霊に満たされていた。

Act 13:44 On the next Sabbath almost the whole city came together to hear the word of God.

13:45 But when the Jews saw the multitudes, they were filled with envy; and contradicting and blaspheming, they opposed the things spoken by Paul.

13:46 Then Paul and Barnabas grew bold and said, "It was necessary that the word of God should be spoken to you first; but since you reject it, and judge yourselves unworthy of everlasting life, behold, we turn to the Gentiles.

13:47 "For so the Lord has commanded us: 'I have set you as a light to the Gentiles, That you should be for salvation to the ends of the earth.' "

13:48 Now when the Gentiles heard this, they were glad and glorified the word of the Lord. And as many as had been appointed to eternal life believed.

13:49 And the word of the Lord was being spread throughout all the region.

13:50 But the Jews stirred up the devout and prominent women and the chief men of the city, raised up persecution against Paul and Barnabas, and expelled them from their region.

13:51 But they shook off the dust from their feet against them, and came to Iconium.

13:52 And the disciples were filled with joy and with the Holy Spirit.